

幼少期からのステロイド使用後に疲労感と皮膚症状を経験した成人アトピーの経過 (29 歳)

症例 ID：001-20-HM | 記録日：2016 年 7 月 4 日

1. 診断・治療前経過

幼少期からステロイドを使用しており、来院前にはかゆみだけでなく慢性的な疲労感や、毎年のように風邪をひきやすい状態にも悩んでいました。

ステロイドで症状が完結しないことを知り、ステロイドを使わない治療を希望して松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期からステロイドを使用していました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	幼少期から来院前まで長期にわたる使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使わない方針へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
来院前	来院前	幼少期からステロイドを使用しており、慢性的な疲労感や風邪をひきやすい状態がありました。
治療開始後	治療開始	漢方薬の内服と漢方風呂を開始しました。漢方薬は比較的飲みやすく、漢方風呂ではかゆみや疲労感が和らぎ、夜も眠れるようになりました。
治療経過中	経過中	ヘルペス症状や皮膚の落屑がみられ、皮膚が少しずつ入れ替わっていくような経過をたどりしました。
2016 年夏	経過後	汗をかいても強いかゆみが出にくくなり、慢性的な疲労感や毎年の風邪もみられなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療経過中にヘルペス症状や皮膚の落屑がみられた時期です。かゆみや皮膚症状に加え、慢性的な疲労感が生活上の負担となっていました。

5. 困りごと

- 慢性的な疲労感があり、体調面への不安がありました。

- ・治療経過中にはヘルペス症状や皮膚の落屑があり、皮膚状態の変化に伴う負担がありました。
- ・かゆみや皮膚症状が続くなかで、治療を継続する必要がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



2015年6月頃の皮膚状態の記録。



2016年6月頃の皮膚状態の記録。

7. 経過のまとめ

治療開始後、漢方薬と漢方風呂を続ける中で、かゆみや疲労感、睡眠状態に変化がみられました。経過中にはヘルペス症状や落屑を伴いましたが、皮膚が少しずつ入れ替わるような変化がありました。

2016年夏には、汗をかいても強いかゆみが出にくくなり、慢性的な疲労感や毎年の風邪もみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。